

令和5年度 浜松市立芳川小学校 学校評価報告書

1 自己評価

自己評価結果及び考察

別紙（学校便り）のとおり

2 学校関係者評価

2月19日（月）に開催した第4回学校運営協議会において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- 学校便り・行事等で校長の思いを直接伝えてくれていることが、学校の雰囲気の変化につながっている。
- 保護者の要望が高いと評価も低くなってしまう可能性もあるが、子供と話ができていない家庭も多いのではないかと。もっと親と子で学校のことで会話ができると学校や子供の今が伝わる。
- 具体策について担任や学校から示していくことで、いじめに対して学校任せにならず、家庭でも考える機会を得ていくことが大切だ。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・保護者と学校をつなぐ簡単なツールを活用したい。さくら連絡網やクラスルームの活用を広げていきたい。時間がない中でも子供の成長を共有できるように。
- ・担任の思いを定期的に発信していく（学年だより、本読みカード、交換日記等）機会を増やしていくことで、一つ一つの教育活動の狙いや重要度などを保護者と共有していき、共に育てていく意識を高めていく。
- ・保護者同士がつながれる場としての学校として行事や参観会・懇談会の参加を促す工夫を行っていく必要がある。
- ・いじめ防止基本方針を学校職員も定期的に確認して意識を高くすることやいじめアンケートを行った時には引き続き子供と直接向かい合う時間（ふれあいウィーク）を確保し、相談できている実感を子供や保護者が感じられるようにする。



フェアリータイムズ

フェアリー(妖精)は
芳川小のマスコット



自分らしさが輝く楽しい芳川小

元気な挨拶ニコニコスマイル芳川小

夢を高く掲げる芳川小

芳川小 学校だより R5.10.20 第13号 <http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/hogawa-e/>

過日、文部科学省から、5月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。本年度の本校の全国学力・学習状況調査と児童質問紙調査の結果の一部をお伝えいたします。

全国と比べて、芳川小の



ポイントが高い項目

〈国語〉

- 送り仮名に注意して漢字を正しく使うこと
- 目的を意識して、中心となる話や文を見付けて要約すること

〈算数〉

- 表から変化の特徴を読み取って、知りたい数を求めること
- 表の中の適切な数を用いて数を求めたり、一の位が0の時の乗法を正しく行ったりすること

〈児童質問紙〉

- 夢や目標に向けて取り組もうという気持ちがあること
- できたことを認めてもらっている実感が高い子が多く、自己肯定感をたかめていること
- いじめはいけないことという認識が高く、友達との関わりも良好

全国と比べて、芳川小の



ポイントが低い項目

〈国語〉

- ▲自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること
- ▲話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめること

〈算数〉

- ▲三角形の性質を理解したり、公式を用いて面積を正しく求めたりすること
- ▲複数のグラフを読み、見出した違いを言葉や数を用いて説明すること

〈児童質問紙〉

- ▲教科の学習は大切だと分かりながら、苦手意識を持ち、自主的に取り組めないこと
- ▲難しいと感じると自分の力で解決してみようという意欲が保てないこと
- ※無答(書かない)のまま、テストを終えてしまうことが多い

この結果から、基本的な生活習慣がついており、夢や目標に向かって取り組むことができていることが分かります。学校では分かるまで教えてもらったり、できたことを認めてもらったりと教師や友達との関係も良好に保たれており、自己肯定感を高めている子が多くいました。学習面では、学習が大切だと思いつつも苦手意識が強く、自主的に取り組めていないと感じている子がいました。日頃の学習への取り組みの中でも改善方法を探っていきたいと思います。

主幹教諭 榛葉 崇文

子供が幸せ 楽しい授業



フェアリータイムズ 芳川小 学校だより

フェアリーは芳川小のマスコット

R6.1.22
第 19 号



ブログ 授業日 毎日更新 <http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/hogawa-e/>

昨年11月に学校に対するアンケートを取らせていただきました。保護者の皆様から頂いた御意見を、来年度教育活動にも反映させていきたいと考えております。御意見を頂いたものをカテゴリ別に分け、学校としての意見をお伝えしていきたいと思っております。2号に分けてお伝えします

※自由記述内容一覧 保護者の方の御意見を原文のまま載せています。個人が特定されるおそれがある場合のみ変更させていただきました。

【指導について】

- 上級生に合った指導を校長先生にはお願いしたいと感じています。
- 子供の話を鵜呑みにするのは、よくないことだとわかっていますが、情報が子供からしか入ってこないの、困惑しています。上靴を隠されたり、「きもい」や「お前はクビだ」などと暴言を吐かれることがあるそうで、心配になります。本人にもなんらかの原因はあるかもしれませんが、先生と話をしても「一年生で、それはない、まだ早い」と言われておわり。涙流して帰る日もあり、不満や不安があるのが正直な気持ちです。
- 何かあったときに電話するのも話し中だったり、対応が…なときもあったり。メールも正直手間…もっと簡単なツールがあるといいの、と思う事があります。
- 担任の先生が怖い、担任の先生に怒られるから宿題をやるという言葉が何回も出てきました。何のために宿題に取り組むのかを家庭でも指導していきます。
- 教師がいじめに気づかない。

○お子さんに対する指導について、お子さんが不安に感じていることに気づけなかった事は職員の力不足であったと言えます。同じ時期に体罰に関するアンケートも行いました。学校運営協議会委員の立会いの下で開封し、内容の確認を行いました。その結果体罰と認められる事案はありませんでした。しかし、教職員の言動についての御指摘がありました。不適切な言動を行った職員に対して、人権を尊重した教育を進めることを校長が指導し、全職員にも子供一人一人の居場所があり、楽しく安心できる学級・学校を作っていくように再度指導がありました。体罰や不適切な言動、その他の問題がありましたら学校まで御連絡下さい。

○いじめに対しても職員の意識がまだまだ低く、子供たちにつらい思いをさせてしまっていることは、すぐに改善しなければならぬこととあります。アンケート結果を職員全体で共有して、子供に寄り添った指導をもう一度学校全体で確認して指導にあたっていきます。

○連絡についてご不便をおかけしています。さくらメールで出欠確認や備考欄での連絡以外にも勤務時間内の電話連絡に御協力をお願いします。御多様であると思っておりますが、子供の安否については確実に連絡をいただきたいので、8時までに必ずメールや電話にて連絡をお願いします。

【生徒指導】

- 学校帰りに、ながら歩きをしている子がいる。クラスで周りの子と違うことをすると複数人で根拠を言わず、ただ「いけないこと、だめ」と責めたてるのは良くないなと思いました。(違うことをしていたとしても、それは校則で違反と書かれていないからやっただけである。子どもの「やってみたい、やりたい」を親と話し合い、ルールを作りやったことで、自己主張がしっかり出来たことはいいことだと思っているが、複数人で責めたてるのは、目に見えない心を傷付けているのではないか?)自分らしさを出すと責められるなら、輝けない。
- 年々、モラルが悪くなっているように思います。自主性も必要ですが、身体面では周りの大人の注意も必要だと思いました。

○教師や保護者が見ていないからこそ、自制をかけられる指導を行っていかなければならないと思います。普段の生活でもその場だけ直せばいいという姿を見かけます。学校だけでなく家庭・地域が一丸となり指導を行っていければと思います。見かけた時、その場での声掛けがとても有効です。ぜひ御協力をお願いします。

【挨拶について】

- 旗当番をしていて、挨拶をしてくれる子がほぼいなくてとても残念でした。
- 旗振りの時に感じたのですが、自分たちからすすんで挨拶ができる子達が少ないように感じています。上の子の時から旗振りをしているので、9年前から年々元気の良い、自らすすんでの挨拶が減っているのはなぜなのか？挨拶をテーマにしているのに、それが生かされないのはなぜなのか少し不思議に感じています。
- 本題とは異なりますが、子供同士の言葉づかいが悪いため自分の子供もそうだし、お友だちも傷ついていると相談されました。実際、子供同士のやりとりで私もチクチクした言葉づかいを何度も耳にしているので、ふわふわ言葉をつかおうという全体への指導をお願いしたいです。

○旗振りでの挨拶や朝の挨拶はまだまだよくなると思います。保護者の方や地域の方が子供たちの挨拶がよくなったと感じていただけるようさらに取り組んでいきたいと思います。

○子供同士のやりとりは学校生活のいろいろな場面で行われます。その都度言葉遣いを意識させています。家庭でも使っている言葉や呼び捨てで呼んでいることがあれば、その都度意識させる指導にご協力をお願いします。

- 校長先生が毎朝とびきりの挨拶で子供達を迎えてくれて本当に嬉しいです。朝挨拶をしっかり出来る子も増えたとし旗振りに対するお礼を言える子も増えたと思います。こんな校長先生がいる学校に通えて子供達も幸せだと思います。
- 毎日丁寧な指導、ありがとうございます。自分のことだけでなく、友達を気遣う様子や発言が少しずつではありますが増えてきたような気がします。相手のことを考えた行動、言動をすることを大切に、日々成長していけたらと思います。
- 相手の気持ちを考えながらも、自分の意見、気持ちをしっかりと相手に伝えることができるようになったこと、身体も心も成長していることに両親共にビックリしています。担任の峰先生、いつも御指導ありがとうございます。
- 芳川小学校はとても懸命にいろいろ掲げて下さっていると思います。自身の子があまり出来ていない事が多く、申し訳なく思っています。でも、伝え続ける事は大事だと感じますので、これからもご指導をどうぞよろしくお願い致します。
- 英語以外のお勉強だけは本当に苦手なので少しずつやるしかないかなと、、、いつか英語の習い事が出来ることだけ祈るばかりです、、、(˘ ˘)／

子供が幸せ 楽しい授業

フェアリータイムズ 芳川小 学校だより



フェアリーは芳川小のマスコット

R6.1.23
第 20 号



ブログ 授業日 毎日更新 <http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/hogawa-e/>

【登校班について】

- 登校班をやめてもらいたい。不登校生徒が増えていて、登校班が全員揃うことが少なく、毎日登校班人数がバラバラです。（揃って登校することに抵抗ある児童もいるようです）他の学校では登校班は解体して、各自の登校をしています。現代の流れに沿って、芳川小も考えてもらいたいです。

○登校班については毎年のように御意見をいただいております。数年前、登校班をやめて、安全を維持するために旗振りを増やすという提案を PTA からしたところ、現状の登校班に落ち着いた経緯があります。学校として考えていくことはもちろんですが、登校について最終決定するのは保護者の方々ですので、地区の実情を考慮して、PTA が中心となり検討していきたいと思います。

【アンケートの設問について】

- 設問 21 については適切解がありませんでした。「わからない」が答えです。
- 設問 21 の 2 択は回答しにくい。いじめ不登校の経験がないので、適切な対応を学校側がしてくれているかの評価ができない。
- 設問 21 はいじめや不登校についてどう対応しているのか知らないので、している、していないの設問は答えにくいです。設問 22 も相談もしていない場合、できた、できないでは答えられません。校長先生の話は、簡潔明瞭でとても好きです。今までの中で一番いいと思う校長先生です。
- 設問 21 はどのような対応をしているか不明でした。
- 設問が システムの関係かもしれないが、 わからないという場合の回答がほしい。また設問 21 は 正直わからない
- 設問が抽象的過ぎて回答に困る。分からない等の選択肢も用意してほしい。

○「いじめ防止等のための基本方針」について周知がまだまだできていない状況にあると思われます。折を見て保護者の皆様にもお伝えしていく機会を設定していきたいと思います。職員に対してどんな取り組みを行ったかアンケートを実施しています。

○アンケートの設問について答えにくい質問となっていたようで申し訳ありませんでした。

「いじめ」に対して学校の取り組みがもっと広まるよう工夫していきたいと思います。職員に「いじめ防止に向けた取り組み」についてアンケートを実施した結果について以下にお知らせします。

【クラスでのいじめ防止に向けた取り組み】

（いじめ防止基本方針に沿って取り組みを行ってきたかどうか）

はい・・・92% いいえ・・・8%

100%になっていないことが残念ですが、担任を受け持っていない場合取り組んでいないと受け取った職員がいたようです。担任でなくとも、どんな場面でもいじめにつながる行為を無くしていく努力をしなければならないと職員の意識をもっと高めたいです。

【具体的に行った取り組みについて】

- いじめかどうかは相手の受け取り方で決まることを、折に触れて話した。
 - 子供と積極的には関わり、困っていることはないか聞いたり、変化を感じ取ったりするよう努めている。保護者と積極的に連絡を取り、必要な場合は医療と連携を図り、児童の心理状態や問題行動の原因について考えようと努めている。
 - 学年で、友達の名前に「さん」を付けることを徹底した。
 - クラスの実態に合わせて、言葉遣いをきちんとできるように指導をした。
 - 生活アンケートの実施。実施後の聞き取りを、気になる回答をした児童だけでなく、全員に行った。
 - いじめの雰囲気を感じられたときは、毅然と対応してきた。学級全体にもすぐに投げ掛け、そうした雰囲気はいけないことを共有することはできた。
 - 未然防止として、思いやりを持って行動できるよう、常に声掛けをした。
 - 互いに聞き合い、何でも話せる学級にしていく。クラスみんなで、目標をもって取り組むなど、実践した。
 - 学習カードの一言日記や、日ごろの子供たちへのコミュニケーションを大切にし、何かトラブルや悩みの報告があれば、速やかに聞き取り調査などをした。
 - いじめにつながる可能性がある出来事はその日のうちに学年主任等に報告し、対応などを共有した。
 - 休み時間に用もなく廊下やトイレに行かないように日ごろから声を掛けた。
- ※特別に行う活動ではなく、当たり前に行っていることでも「いじめ」を発見したり、抑制できることを日々行っています。

- 1年生の時よりも、イキイキしてると思います。本当に良かったと思います。
 - 些細なトラブルも保護者に報告して下さり様子が分かるので助かります。
 - 参観会で娘が初めて発表をしている姿を見ることが出来ました。とにかく外では声が小さく内気な性格なので心配しておりました。娘の成長を実感出来、本当に嬉しかったです。これも先生たちのおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。これからもよろしくお願いします。
 - 参観会で河口先生の授業が毎回とにかく面白いと感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。息子は河口先生以外でも面白かったり興味が沸いた授業だったときは家で話をしてくれるので、素敵な学校だなと常々感じております。あと半年きりましたが、今後とも宜しくお願いします。
 - いつも授業を楽しく学べて感謝しております。休み時間の先生の目が届かない時間が、辛いか辛くないかで、学校に行きたいかがかなり重要な部分も、あるんじゃないかなと思います。
 - 子供達は男女共に仲が良く楽しい学校生活が送れていると思っています。（もちろん全員だとは思いませんが）生活するうえで大切な挨拶、ルールを守る等、仲良しな部分を生かしてお互いを高め合えるといいな、と思っています。
 - 二学期始まった頃から不登校を経験し、今も遅刻をしながらの登校で迷惑おかけしてしまっていてすみません。朝から登校出来なくても先生やクラスメイトの子達に受け入れてもらっていて、登校できている事を嬉しく思います。これからも迷惑かけることもあると思いますがよろしくお願いします。
- 日々、職員も受け持ったお子さんのために一生懸命取り組んでいます。このような感謝のお言葉をもらうことでさらに精進していきたいと気持ちを新たにできます。様々な面でご協力いただき本当にありがとうございます。